

| | |
|--------------|---|
| Title | 大阪大学低温センターだより No.117 裏表紙 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学低温センターだより. 117 |
| Issue Date | 2002-01 |
| Text Version | publisher |
| URL | http://hdl.handle.net/11094/21638 |
| DOI | |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

〈編集後記〉

「低温センターだより」というと、学生のころは窒素をベッセルに汲みだす合間によく読んでいたものですが、最近では自分で窒素を汲みにいく機会が減ると共にゆっくり読む時間が減ってしまっていました。縁があってこのたび編集委員会に参加させていただくことになり、新米編集委員の初仕事として編集後記を引き受けることになりました。

本号では研究ノート四編のうち、三編の表題に「ナノ」というキーワードがついています。「ナノテクノロジー」「ナノサイエンス」という分野が活発になっている状況をあらためて実感いたしました。本号の記事においても、合金ナノ粒子の配向制御とその磁性、シリコン・ナノチェインの生成とそのメカニズム、カーボンナノチューブの磁場中での光吸収の異方性について、わかりやすく解説していただいていますのでぜひご一読ください。本号は別に「ナノ」特集号というわけではなくて、強相関電子系物質の圧力下でのドハース・ファンアルフェン効果の測定について、物理的な内容ばかりでなく、装置の作成やその改良についても説明していただいています。こういうものが気軽に読めるところも「たより」の良いところだと改めて感じました。

編集会議での話題として、特定の部局からの記事が集中しがちという話がありました。「たより」を読む楽しみの一つには、自分の専門外の分野の肩のこらない記事が読めるということにもあるので、私はただの寒剤ユーザーだと思っていられっや方でも、何か面白い話題がありましたら編集委員会にご連絡をお願いします。本号では掲載できなかったのですが、技術ノートの記事を個人的には非常に楽しみにしていました。こちらの投稿も積極的にお願いします。

編集後記を書くに当たってバックナンバーを読み返そうとしたのですが、まとまって読めるところがなかなか見つからなくて、研究室であちこちに散乱していたのをかき集めて読み返すことになりました。せっかく良質の記事を書いていただいているので、低温関係の研究室だけでなくいろいろな立場の人が容易に読み返せるようにする工夫、例えば電子ジャーナル化なども真剣に検討する時期なのかもしれません。

(宮久保圭祐)

大阪大学低温センターだより 第 117 号

平成14年 1 月 発行

編集責任者 北 岡 良 雄
発 行 者 大阪大学低温センター
吹田分室 大阪府吹田市山田丘 2 番 1 号
電話 (06) 6879-7985
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町 1 番 1 号
電話 (06) 6850-6691

印 刷 所 阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川 3 丁目 6 番 4 号
電話 (06) 6443-0936 (代表)

目 次

No.117

研究ノート

| | | |
|--|------------------------------|----|
| 方位配向FePt、FePdナノ粒子の構造と硬質磁性 | 産業科学研究所 佐藤 和久 弘津 禎彦 | 1 |
| ナノ触媒を利用したワイヤー結晶成長の不思議 | 理学研究科 竹田 清治 | 6 |
| 磁場中のカーボンナノチューブ：光吸収スペクトル | 基礎工学研究科 安食 博志 | 11 |
| CeRh ₃ Si ₂ の圧力下でのドハース・ファンアルフェン効果 | 理学研究科 荒木 新吾 大貫 惇陸 | 17 |
| 運営組織 | | 21 |
| お知らせ | | |
| 投稿のご案内 | | 22 |

表紙説明：左上側：単層カーボンナノチューブの構造（本文p.11参照）

右下側：シリコンナノワイヤーの先端写真（本文p.6参照）